

2022年10月 7 日

九州電力株式会社

株式会社ジャパン・インフラ・ウェイマーク

非GPS対応自律型ドローンを活用した複数機体による遠隔での 自動・自律巡回飛行の国内初実証を行いました

— 高度なインフラ点検サービス実現を目指します —

九州電力株式会社（福岡市、代表取締役社長執行役員：池辺和弘）及び株式会社ジャパン・インフラ・ウェイマーク（大阪市、代表取締役社長：柴田巧）は、ドローン機体・サービスの共同開発を行っております。
(2021年5月19日お知らせ済)

今回、国内では初めてとなる複数機体のドローン（米国Skydio社製※）による遠隔での自動・自律巡回飛行の実証を、九州電力の苓北発電所（熊本県天草郡苓北町）で行いました。

本実証は、パソコンで同時に3機のドローンを操作するとともに、自動・自律巡回飛行中に撮影した映像をリアルタイムに一元管理し、遠隔地で確認するもので、国内初の取り組みです。

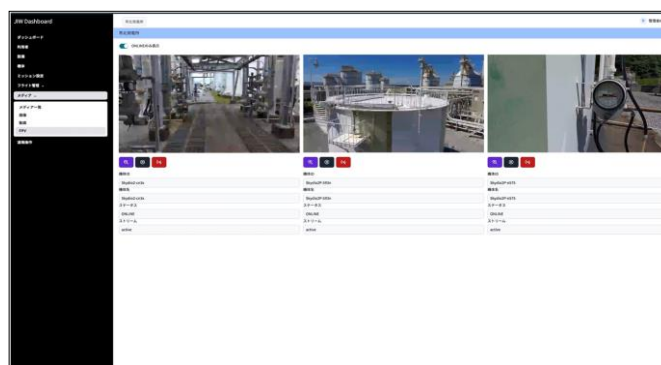
両社は、これまで九州電力の発電所等でドローンを活用したインフラ点検検証を共同で実施しており、現場の点検ノウハウを蓄積・反映させることで、ドローンの機能を強化してまいりました。今回の取り組みを踏まえ、今後も更なるドローン活用範囲の拡大と高度なインフラ点検サービスの実現を目指します。

※非GPS環境下や磁界環境下においても安全な飛行が可能なAIによる自律飛行技術、360° 全方位障害物回避機能を搭載したドローン

【国内初の遠隔での自動・自律巡回飛行の実証】



【撮影中のリアルタイム映像を一元管理したPC画面】



以 上